

# 岡山畜産便り

## 2014 2



岡山市南区福富西 (株)福田種鶏場 山上祐一郎さん

### もくじ

岡山県における飼料用米、稲WCSの現状について 岡山県農林水産部畜産課…………… 1	〔畜産現場の声〕 種鶏一筋に三代目。 「よい雛」の生産は挑戦の連続だった！ (株)福田種鶏場 山上祐一郎(岡山市南区福富西)…………… 14
〔県民局だより〕 「じきゅう力」アップの畜産物！ 美作県民局農畜産物生産課…………… 3	〔共済フレッシュさんの声〕 北部基幹家畜診療所 渡邊 卓彌…………… 16
〔家保のページ〕 長期不受胎牛への受精卵移植の効果 津山家畜保健衛生所…………… 5	〔ホットニュース〕 「和牛入門講座」第7期修了！ — 第1～6期受講生の現況について — (一社)岡山県畜産協会…………… 17
井原市の畜牛歴史展 井笠家畜保健衛生所…………… 7	〔お知らせ〕 平成26年度自給飼料関連施策について (一社)岡山県畜産協会…………… 18
〔共済連だより〕 家畜診療日誌 生産獣医療支援センター 齋藤 愛…………… 9	北海道乳牛市場の初妊牛価格の推移 おかやま酪農業協同組合…………… 19
〔普及の現場から〕 専用肥料を活用したWCS用イネ品種 「たちすずか」の省力栽培 津山農業普及指導センター…………… 10	〔Q&Aコーナー〕 肉用子牛生産者補給金制度とは (一社)岡山県畜産協会…………… 20
〔技術のページ〕 安心して堆肥を使ってもらうために定期的な分析を！ 岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 環境研究グループ…………… 12	

# FOSS

## ■安全性評価用ラインナップ

食品の安全性への関心はますます高まっています。米国チャーム社の生乳の分析ソリューションは特定の抗生物質の残留から、幅広い抗菌性物質の残留、または高感度の生乳中のアフラトキシンの分析で世界中で幅広く使用されています。

### チャームROSAテスト(生乳用)

ベータラクタムキット  
テトラサイクリンキット  
キノロンキット  
サルファキット  
アフラトキシンキット他

### チャームROSA-Mテスト(マイコトキシン用)

アフラトキシンB<sub>1</sub>/B<sub>2</sub>  
DON・ゼアラレノン  
フモニシン  
オクラトキシン他

### ブルーイエローテスト/カウサイドテスト

手軽なバイオアッセイキットは生乳用ROSAシリーズより幅広い阻害剤を検出します。



### NEW Charm EZ-M

米国Charm社の免疫学的システムに新シリーズ登場。インキュベーターとリーダーが一体化。読み取りモードはカラータグが自動で選択します。

### Charm EZ



### ROSAリーダー

### ROSAインキュベーター



## ■その他FOSS製品ラインナップ

乳・乳製品の成分分析のスタンダード ミルコスキャンをはじめ、化学分析の安全な自動化を可能にするFOSSのソリューションは生産から製造まで成分品質の管理に幅広くご活用頂けます。

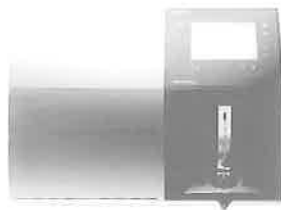
### ミルコスキャンFT1

液体分析の専用機。乳製品をはじめ豆乳の分析が可能。



### ミルコスキャンマイナー

生乳・牛乳分析専用の小型機



### タンパク質分析 ケルテックシステム



### 食物繊維分析 ファイバーテック



## フォス・ジャパン株式会社

### ○東京本社

〒135-0016 東京都江東区東陽2-4-14  
三井ウッディビル 1階

TEL03-5665-3821 FAX03-5665-3826

### ○札幌営業所

TEL011-518-1831 FAX011-518-1833

### ○九州営業所

TEL096-292-8681 FAX096-292-8682

E-mail: info@foss.co.jp

URL: www.foss.co.jp

Dedicated Analytical Solutions

# 岡山県における飼料用米、籼 WCS の現状について

岡山県農林水産部畜産課

## 1 はじめに

輸入飼料穀物及び乾草の価格高騰は畜産経営を直撃しており、非常に厳しい状況が続いています。自給飼料基盤に立脚した県内産飼料の更なる増産の取組は待ったなしの状況ですが、政府は今後10年間で農業・農村全体の所得を倍増するため、農業の構造改革に取り組むこととしており、農業・農政はかつてない転換期を迎えています。水田利用のあり方が、大きく変化しようとしています。畜産経営にとって最適な利用を考える必要があります。

## 2 米政策の見直し

政府は昨年11月26日に米の生産調整を5年後を目途に見直し、合わせて減反協力者に支給していた直接支払い交付金も廃止することを柱とした農政改革を決定しました。今回の見直しにより、飼料用米では転作補助金が数量払いとなり、生産量が増加すれば助成額が増えるなど、水田フル活用を目指し、農家に転作を促すこととしています。また日本型直接支払いの導入、農地集積バンクを始動させ、農地集約による構造改革を進めることとしています。

### (1) 米の直接支払交付金

激変緩和のための経過措置として、26年産から単価を15,000円/10aから7,500円/10aに削減した上で、29年産までの時限措置(30年産から廃止)として実施します。

### (2) 水田活用の直接支払交付金

水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進します。

表1 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円~105,000円/10a
そば、なたね	産地交付金へ組替

### ①戦略作物助成

飼料用米、米粉用米の取組に対し、数量払いが導入され、収量に応じた支援の仕組みに変更します。(表1)

### ②二毛作助成

水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

交付単価：15,000円/10a(変更なし)

### ③耕畜連携助成

耕畜連携の取組(飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環)を支援します。

交付単価：13,000円/10a(変更なし)

### ④産地交付金

地域の裁量で活用可能な交付金により、地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく、水田における麦、大豆等の生産性向上の取組、地域振興作物や備蓄米等の取組等を支援します。

具体的には、飼料用米・米粉用米の多収性専用品種への導入、加工用米の複数年契約(3年)の取組に対して交付単価12,000円/10a等を行います。

### 3 飼料用米、稲 WCS について

本県におきましても、戸別所得補償モデル対策、戸別所得補償対策、経営安定所得対策等の所得補償、耕種農家、畜産農家及び関係機関の連携強化等により、飼料用米、稲 WCS の取組面積が増加し、用途に応じた利用が進展してきたところであります。(図1)

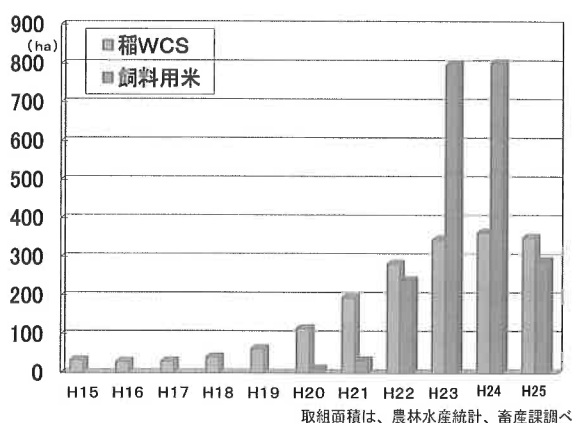


図1 岡山県におけるWCS・飼料用米の取組面積

#### (1) 飼料用米

トウモロコシの代替飼料として位置づけられ、24年産までは急激に増加するも、備蓄米等の影響もあり、25年産の取組面積は前年に比べ半分以下となっています。供給先としては、全農取扱の玄米をくみあい飼料で配合飼料に混合し、畜産農家へ供給されるルートが大部分を占めています。その他にも耕種農家と畜産農家が直接取引をし、粳のまま配合飼料と混合する場合や飼料会社でソフトグレインサイレージにし、TMRと混合するなどの利用があります。

26年産における飼料用米多収性品種の種子の取扱は(一社)日本草地畜産種子協会等での供給予定となっていますが、品薄状態であり、今のところ入手困難ですので、26年産は主食用米での取組が多くなると予想されます。

#### (2) 稲 WCS

平成12年に岡山市、津山市で生産が開始されて以降、その取組面積は拡大を続け

てきましたが、25年産ではやや減少となっています。

県内では、まだ従来品種での取組が多く、利用がやや頭打ち状態ではありますが、近年は稲 WCS 専用品種である「たちすずか」、「たちあやか」が登場し、注目されています。両品種は(独)農研機構近畿中国四国農業研究センターで育成され、茎葉に対して穂が少ない特徴があり、従来品種では籾米に貯留する栄養分が茎葉に多く、飼料価値の高い稲 WCS になります。

県内での両品種の種子供給体制は整いつつあり、26年産では約89haと稲 WCS の取組面積に占める割合が、約1/4程度に拡大する見込みとなっています。地域の理解等により、全県下への普及が更に期待されるところです。

### 4 今後に向けて

県としては今までに、生産性の向上、利用促進のための普及啓発、現地指導等を実施し、水田を活用した飼料作物の生産・利用拡大、稲わら・麦わらの飼料利用等を推進してきました。補助事業では、今年度から新たに単県事業として「Motto 自給飼料! 稲 WCS 専用品種普及対策事業」を創設し、稲 WCS 専用品種である「たちすずか」、「たちあやか」の普及、団地化等の助成をしています。また、国の平成25年度補正予算では「畜産収益力向上緊急支援リース事業」が増額され、畜産経営における飼料自給率や生産性の向上、飼料生産受託組織等に必要な機械の導入支援が充実されたところです。

飼料米、稲 WCS はこれからも生産の拡大が期待できる国産の飼料です。国庫事業や各種事業を積極的に取り入れ、低コストによる畜産物の生産、畜産経営の改善に寄与する水田を積極的に活用しながら、飼料米、稲 WCS 等の飼料増産につなげたいと考えていますので、皆様方の御理解と御協力を今後ともよろしくお願いします。

## 〔県民局だより〕

# 「じきゅう力」アップの畜産物！

美作県民局農畜産物生産課

### □ じきゅう？

「土－草－家畜」の循環が大事なことはだれでもわかっていますが、なかなかできないのがこれまでの畜産。しかし購入飼料価格の高止まりや、国を挙げての稲WCSの推進など、向かい風なのか追い風なのか、我々は自給飼料の生産と利用について見直さざるを得ない状況になっています。何かできないか？

ここに管内の事例を紹介します。関係協議会が県民局からの委託を受け、自給飼料多給型牛肉生産の実証を行っています。

表 実証の概要

区分	概要	品種 産地	頭数	と畜時期 月齢	分析項目	血中ビタミンA (IU/dl、11月 期測定、平均)	備考
自給飼料多給	出荷前までの6ヵ月間の粗飼料をWCS等で代替	ジャージー種 去勢 蒜山～富	3	H26年・1月 30ヵ月	飼料分析 生体体側 血液中：ビタミンA・総コレステロール	88.7	濃厚飼料給与は通常区と同様
通常	粗飼料は輸入フェスキューを使用	ジャージー種 去勢 蒜山～富	3	H25年・12月 30ヵ月	肉：オレイン酸・βカロチン・剪断力価 食味：香り・風味・コクなど コスト分析 他	69.3	
(参考)放牧主体	夏季は放牧主体、冬季は混播牧草サイレージ主体の搾乳牛	ジャージー種 雌 蒜山	5	H26年・1月 5～8才	コスト分析 他	119.6	特に「鶏いぢし」せず

### □ じきゅう（自給）

管内の牧場における肥育において、(ほんの最後の6ヵ月間ほどですが)後期の粗飼料を全量自給飼料に変えてみました。混播牧草や稲WCSのロールサイレージで、給与量は現物で2～6kg/頭ほどです。濃厚飼料は通常どおりです(本来はコーンサイレージも使いたかった)。遅れましたが、肥育牛の品種は、ジャージー種です。牛乳はもちろんスペシャルですが、その色・味とも「コク」ある肉は、人に教えずこっそり楽しんでいる地元民がいるほど美味しいとか。今回の実証では、肉質の劇的な差は

まず見られないと思いますが、今後の全期への取り組みに向け、ビタミンA、総コレステロール、βカロチン、オレイン酸などを検査・分析中です。



写真 採血の様子(鏡野町内)

2月初めには、蒜山において一般消費者による食味テストも実施し集計中です。「ジャージー牛は旨みありgood、おいしい。」との声が多くありました。



これは、モニターお礼の放牧主体牛・おかやま黒豚の合挽ミニハンバーグです。「激ウマ」だそうです。

写真 食味テストの様子(2月1日、真庭市内)

### □ じきゅう（時給）

果たして「自給」力を高めて、「時給」力が高い経営が成立するのか？ましてや、

今回の給与ステージではさほど影響は考えられませんが、青草に近いものを与えて、既存の評価方式での肉質は低下するのではないか？・・・そう予想されます。

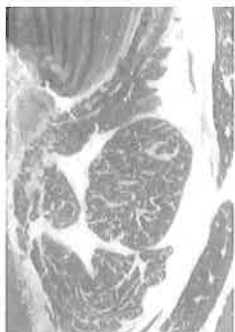


写真 自給給飼料多給区の枝肉

30ヵ月齢、枝肉重量365kg、BMSNo.3、…6ヵ月ほどでは見た目は通常と変わらないというのが大半の意見。しかし、ジャージーはサシが入りやすいですね。

“こだわり”牛肉のトレンドは大きく二つに分かれると考えます。一つは当然和牛肉、昨年和食が世界無形文化遺産に登録され、その主役級と言えます。そしてもう一つは、環境にも人にも牛にもやさしい牛肉でしょう。赤身で肉色も濃くていいから、素性のはっきりしたエサで健康に育てられ、そして「そこ」にしかない、そんな牛肉・・・、BSEや食品偽装、そして大震災などを経て、このような牛肉を人は求める傾向にあります。

今回のねらいは後者であり、今後コスト比較も実施しますが、十分に生産者（あるいは地域）の時給アップにつながる牛肉づくりであると考えています。粗い試算ですが、30ヵ月齢・790kg出荷目標（とりあえず通常区と同様）で、肥育前期から粗飼料をWCS主体の給与体系にすると、1頭当たり粗飼料で約2万円（10万-8万）のコストダウンを見込むことができます。つまり、既存の枝肉評価では約55円/kgまでなら規格を落としても我慢できるし、味・有益物質濃度、エコなどの独自方式での高評価が加われば、さらに時給アップとなります。

いずれにしても、ポイントは、誠実な生産活動と商品を訴える力（商売っ気？営業力？）です。

（和牛肉は後者においても可能性を秘めていますね。）



写真 放牧主体区の枝肉

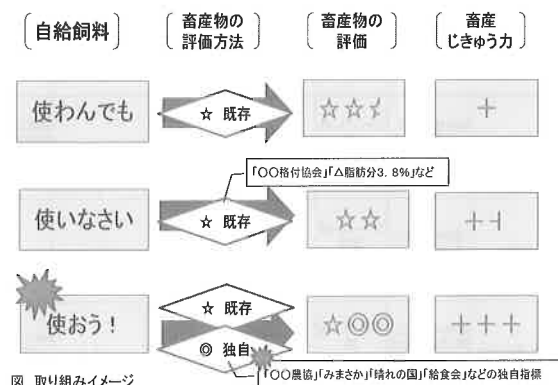
6才、枝肉重量186kg…肥育の約半分ですね。しかし鉄分とカロチンはありそうだな～。独自指標で肉色と脂肪色はゼったい「ウリ」になる。

### □ じきゅう（持久）

中山間地域において、放牧や自給飼料により肉や乳を生産する。その生産方式と価格は、消費者にも生産者にも地域にも負担が掛からないものであり、畜産・農業・農村が前向きに存続（「持久」）する。「TPPにギリギリ勝ったはいいが、地域はイノシシだらけのクソだらけ」は、避けたいものですし、ありえません。

#### じきゅう力アップ畜産物のイメージ

じきゅう力は「自給」「時給」「持久」の総合力です。



### □ ちきゅう（地球）

大きく出ました。「地球」ですよ「地球」、編集長！一説によるとアメリカの穀物生産地帯においては、地下水がなくなりつつあり、塩害が出ているそうです。TPPどころではありません。世界規模での活発な経済交流は必要ですが、自給できるものは自給できる体制をとり、地球のための、農業による経済交流を図りたいものです。幸い、「晴男（女）」が多く、「雨男（女）」もそこそこ活躍する岡山は、地球にやさしい、じきゅう力アップの農業を展開するには良い所だと思います。その中心として、畜産は不可欠な産業なのです。

# 長期不受胎牛への受精卵移植の効果

津山家畜保健衛生所

近年、酪農経営を取りまく状況は、飼料価格が高騰し厳しさを増しています。さらに牛の高泌乳化に伴い受胎率は低下し、分娩間隔が延長しています。空胎日数が長期間となった牛、いわゆる長期不受胎牛の存在は酪農経営に大きな損失をもたらしていますが、初任導入牛価格の高止まりなどにより、それらの牛を容易に更新出来ないのが現状で、長期不受胎牛の対策は重要な課題の一つになっています。

そこで、分娩間隔延長による損失と長期不受胎牛への受精卵移植（以下ET）の有効性について検討したので紹介します。

## 1 分娩間隔延長による損失（試算）

日乳量に乳代をかけた乳代金から日々の支出である飼料費、労働費を含む管理費等を差し引き、損益分岐点と累積損失を試算しました。諸条件は表1の通りで、乳量は5次回帰曲線の泌乳曲線を用いました。

表1 分娩間隔延長による損失（試算）

### <試算式>

$$(\text{日乳量} \times \text{乳代}) - (\text{飼料費} + \text{管理費等})$$

\* 損益分岐点と累積収支を試算

### <条件>

• 乳代	103円	• 管理費等	
• 乳脂率	4.03%	• 25,000円/月	
• TDN単価	78円	• 乾乳日数	60日
		• 乾乳費用	
			30,000円/月

表2 日々の収支の損益分岐点の試算

### <9,000kgの場合>

搾乳日数	350日	360日
(空胎日数)	(130日)	(140日)
乾乳牛前乳量	16.1kg	15.3kg
乳代	1,659.6円	1,574.5円
飼料費	766.7円	743.3円
管理費等	833.3円	833.3円
日毎の収支額	59.5円	-2.1円

## (1) 損益分岐点

年間乳量が9,000kgの牛の場合、搾乳日数350日（空胎日数130日）では、乳量が16.1kgで乳代から経費を差し引くと収支額は59.5円となり、搾乳日数360日（空胎日数140日）では、乳量15.3kgで乳代から経費を差し引くと収支額が-2.1円と赤字に転じ、以降日々の収支は赤字になります（表2）。

同様に年間乳量8,000kgおよび10,000kgでも試算したところ、いずれも日乳量が15kgを下回る日数、年間乳量8,000kgでは空胎日数120日、10,000kgでは空胎日数200日が損益分岐点となりました。

## (2) 累積損失

図1は年間乳量が9,000kgの牛について空胎日数140日前後の日々の収支をプロットしたものです。たとえば空胎日数が300日まで延長すると、累積で109,514円の損失となり、その対策は農家経営にとっても重要であることが分かります。

### <9,000kgの場合>

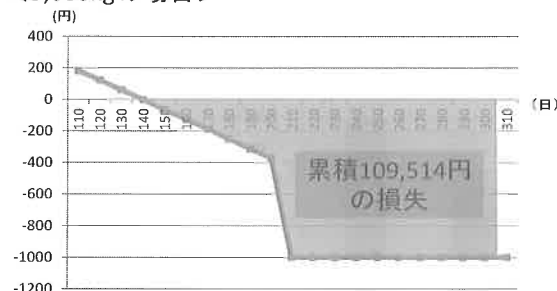


図1 累計収支の試算

## 2 長期不受胎牛対策としてのETの有効性

長期不受胎牛対策のひとつとしてETの活用が注目されており、管内でもそのような利用が増えています。そこで、長期不受胎牛対策としてのETの有効性を検討しました。

### (1) 調査対象農家の概要

管内A町でET実績のある牛検加入農家7戸及び繁殖成績を漏れなく記録してい

る農家1戸の計8酪農家で、平成24年1月～平成25年10月までに人工授精（以下AI）またはETを実施し、妊娠の確定した延べ373頭のデータを用いました。対象農家の概要は平均飼養頭数39頭、1頭あたりの平均乳量8,700kg、平均空胎日数195.4日、AIとETの平均実施回数は3.0回、受胎率はAIが28.4%、ETが50.2%でした。

### (2) 長期不受胎牛の受胎率

特に損失が大きい空胎日数が300日を超える牛を長期不受胎牛としたところ、長期不受胎牛は66頭で、全体の17.7%でした。その内43頭がAIで受胎し、受胎率は12.6%、23頭がETで受胎し、受胎率は30.3%でした（図2右グラフ）。

さらにAIの受胎率とETの受胎率の差を長期不受胎牛とそれ以外の牛でそれぞれ比較すると、長期不受胎牛以外の牛では、AIの受胎率は37.9%、ETは60.0%で、AIとETの受胎率の差は1.6倍で、長期不受胎牛では、その差は2.4倍でした。

一般的に受精卵の特性から、ETの受胎率はAIのそれに比べ高いと言われていますが、AIとETの受胎率の差は長期不受胎牛ではさらに顕著であり、ETのほうがAIにくらべ長期不受胎牛の対策に効果的であると考えられました（図2）。

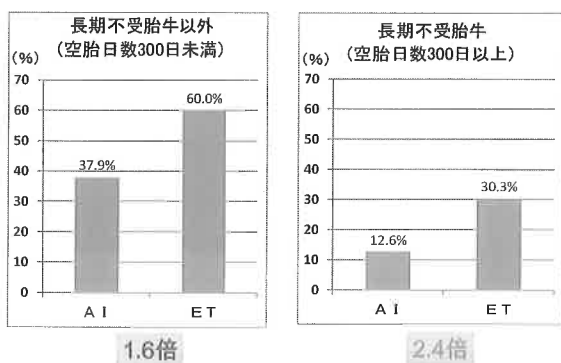


図2 受胎率の差の比較

### (3) 空胎日数別受胎率

図3は空胎日数別の受胎率を示しています。AIの受胎率は150日まではAIの平均受胎率（28.4%）を上回っているものの、それ以降は下回ります。一方ETの受胎率は全ての期間でAIの受胎率より高く、400日を超えるまではAIの平均受胎率を

上回っていました。今回対象とした農家においては150日以降は、ETを積極的に利用したほうが空胎日数を短縮する効果があることが示唆されました。

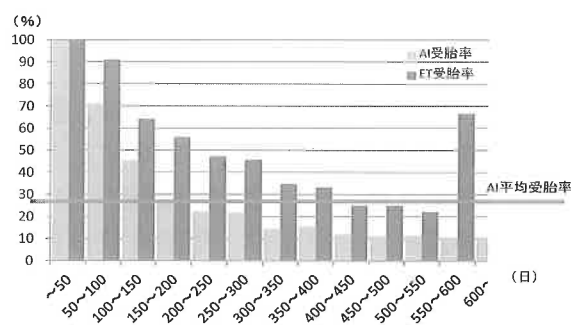


図3 空胎日数別受胎率 (AIとET)

### (4) ET実施率と空胎日数

ET実施率と空胎日数の関係を検討したところ、ETを実施した割合が高くなるにつれて空胎日数が短くなっており、積極的にETを利用した方が空胎日数を短縮することが分かりました（図4）。

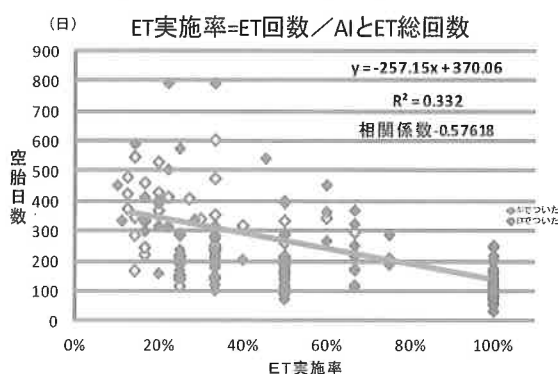


図4 ET実施率と空胎日数

## 3 まとめ

ETはAIに比べ受胎率が高く、その差は長期不受胎牛でより顕著だったことからETは長期不受胎牛対策に有効と考えられました。

またET実施率が高くなるにつれて空胎日数は短くなり、ETの積極的な実施が空胎日数短縮につながることも分かりました。

より高い利益を出すには、更に空胎日数の短縮が必要です。分娩後早い時期はAI、ETとも受胎率は高く、この時期に発情を発見し、受精できるよう飼養管理をする事が大切です。併せて、空胎日数短縮の対策の一つとしてETの積極的な利用を検討してみたいかがですか？



## 井原市の畜牛歴史展

井笠家畜保健衛生所

平成25年10月から11月、井原市文化財センターで、役牛から家畜になるまでの牛に焦点を当てた企画展が開催されました。展示品は、江戸から昭和期の畜産に関する文書、写真、民具等約50点で、井原市や岡山県立資料館が所有しているもののほか、当時の飼養者が個人で大切に保管されていたものも含まれています。首藤研究員に説明をして頂きましたが、歴史ある地域には、中心となって産業を支え畜産を振興した人がいて、歴史が作られていったということを感じました。

井原市は、平成17年に旧井原市に美星町、芳井町を編入合併して現在の市となりましたが、旧井原市は昭和28年に後月郡の8町村と小田郡の2村が合併して誕生しました。今年は、井原市制60周年の年となっています。

表のように、井原市一帯は牛の飼養頭数が多い地域でした。

表 牛の飼養状況

上段が乳用牛、下段が肉用牛（頭数）

昭和35年		平成25年	
井原市(旧)	524	井原市(新)	534
	1,868		876
小田郡	858	矢掛町	444
	2,922		7
後月郡	233	井原市へ合併	
	741		

(岡山県畜産史と家保調べ)

### 1 展示農具

(1) 乳缶や美星町公共牧場のパンフレット (写真1)



(2) 荷鞍や書物の展示 (写真2)



(3) 牛沓、牛の鼻刺し等 (写真3)

牛沓（うしくつ）は、役牛として使役されていた時代に、長い距離を歩いたり重いものを背負うとき、蹄を保護するために装着していたそうです。

牛の鼻刺しには屋号の烙印があり、現在

でも使えそうな状態で、大切に長く使用されていたことが感じられました。

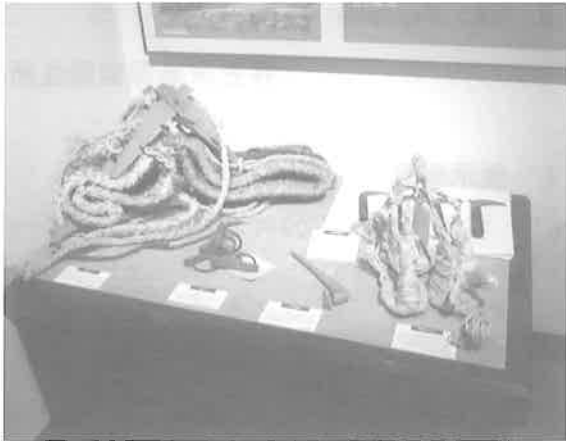


写真3 牛沓、鼻刺し、鼻ぐり 等

## 2 牛科重宝記 (写真4)

著者は日野友松軒とあり、牛の治療法などが書かれている宝暦6年(1756年)の書物です。病気に対する治療が、漢方薬などを使用して行われていたことを知りました。個人の所有物だそうです。



写真4 牛科重宝記

## 3 牛にかかわる方言 (写真5)

おなみ・めんたー(雌牛)、こってー・おんたー(雄牛)、ざぶ(牛飼料)など、少しは耳にした言葉もあり、懐かしくなりました。

《牛にかかわる方言》

方言形	意味
おなみ	牝牛(めうし)
こってー	牡牛(おうし)
おんたー	動物の雄全般を指すが主に牡牛
めんたー	牝牛(めうし)、牝牛の子を指す場合もある
べっち	子牛
ようよう	子牛
うしんが	牛が引く犁(すき)
まんが	牛や馬が引く犁(すき)
うしんだや	牛舎、馬屋
おしぎり	押し切り、牛馬の飼料の草や藁を刻む道具
ざぶ	牛飼料
もやし	農耕用に1年くらい肥育した牡牛のこと
おいづな	牛につけて牛を追う綱
だおけ	牛馬にかいばを与える桶
はり	牛の売買の時仲買人が売り手から手数料をとること

写真5 牛にかかわる方言

## 5 家畜市場の現状 (写真6)

井原市井原町夏目にあった家畜市場の写真が展示されていたので、その場所へ行ってみると、現在は牛井のチェーン店が営業しており、不思議な巡り合わせを感じました。



写真6 家畜市場のあった場所(現在)

若い職員は最新の技術や知識に関心が向きますが、勤務歴が長くなると昔の出来事や歴史にも目がいくものです。

論語に温故知新という言葉があるように、前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見い出して、今後の岡山県の畜産振興に役立てたいものです。

〔共済連だより〕

## 家畜診療日誌

生産獣医療支援センター 齋藤 愛

「先生！」

「(…えっ私のこと!?) は、はいっ！」

4月、まだ“先生”と呼ばれ慣れない私はすぐに反応することができませんでした。先生と呼ばれる立場になったんだなあ…と、なんだか嬉しく思うのと同時に頑張らなくちゃ、と感じたことを覚えています。牛が好きだから牛の獣医さんになりたい、と小学生の頃から周囲に公言していました。生まれは山梨で田舎育ちなのですが、かといって牛に関わる機会はなく、きっかけが何なのか未だに自分でも分かりません。しかし中学校、高校、大学…とその思いは変わらず、今やっとその夢が叶いました。思い悩むこともあります、基本的には日々楽しく仕事をさせてもらっています。少し時間があるときは、大好きな牛をじっと眺めながら癒されています。最近のマイブームは牛の耳の毛です。彼らが耳をパタパタさせ、それが不意に私の顔に当たった時の気持ちよさはかなりのものです。

楽しく仕事ができるのはいい事なのですが、少々(多々?) どんくさい所があり怪我が絶えません。常に腕や脚に謎のかすり傷やアザをこしらえています。踏まれる、蹴られる、挟まれるなんてのは日常茶飯事。それに加え、子牛の口の中の温度を確かめようとすれば手を突っ込みすぎて奥歯で噛まれて流血、蹄病の治療をすれば鎌で指を切り(4針縫いました…)、手術の助手をすればメスで手を突き刺す始末。犬にも噛まれたりします。いつかはスマートに、かっこよく診療できたらいいなあ…なんて思いながら、現実是不細工に、糞まみれになりながら、ただがむしゃらに診療をしています。

そんな私の事を農家さんはいつも支えてくださいます。“最初はみんなそうだから、大丈夫!” そんな風に言って温かく見守ってくださるお陰で、私は少しずつ、成長す

ることができています。先日、「先生が縫った皮膚、すごくきれいに縫えてるね！」と農家さんにいわれた時はすごく嬉しかったです。初めの頃は、こんなんじゃ日が暮れるわってくらい時間もかかる上にそれはもうヨレヨレで…。もちろん厳しいお言葉を頂くこともあります。でもそれもまた私の成長へとつながり、次にリベンジした時に“上達したなあ”と言われたときは本当に嬉しく、ちゃんと成長できているんだな、と実感することができました。

岡山で働き始めて、もうすぐ1年が経とうとしています。最初の頃は診療以前に、まず牛を捕まえることもままなりません。牛と一緒に延々と右を向いたり左を向いたり…。やっと捕まえたとしても上手に繋げない。そして再び逃げていく。直腸検査では、「卵巣がありません！」なんて事もしばしば言っていました。先輩獣医師の様々な知識と技術を目の当たりにする度に、こんなこと私にできるようになる日が来るのだろうか不安に思うこともありました。あれから約1年、今は牛に振り回されることなく、難なく牛を捕まえることができる…事も多くなりました。ロープワークもちょっぴり上達したかな? それから、卵巣がない牛に出会うことはなくなりました。ただ、生傷は相変わらず絶えませんし、糞まみれになるのも変わりません。いつになったら先輩獣医師のような知識と技術を身につけられるかは分かりませんが、一步一步、でも確実に、近づいていきたいと思っています。

4月からは2年目に突入します。まだまだ知らないこと、できないこと、勉強することが山ほどあります。1年後にはもっともっとたくさんの武器を手に入れて戦えるようになるため、これからも奮闘していきたいと思っています。

# 〔普及の現場から〕

## 専用肥料を活用したWCS用イネ品種「たちすずか」の省力栽培

津山農業普及指導センター

### 1 はじめに

津山地域では、これまでWCS用イネ専用品種を積極的に導入してきましたが、高糖分飼料イネ品種「たちすずか」と「たちあやか」は、試験段階から導入し、現在は、これらの品種を核としてイネWCSの推進を図っています。平成25年度の津山地域での「たちすずか」の栽培面積は、26.5haまで拡大しています。

「岡山畜産便り」平成25年2月号でも報告したとおり、「たちすずか」の特性のひとつである多収性を発揮するためには、適切な施肥体系が求められますが、追肥が行われていない等の理由で収量が低い事例があります。そこで、省力で収量を確保するために開発された「たちすずか専用一発肥料」の効果を検討しましたので、その結果を報告します。

### 2 たちすずか専用一発肥料について

- ・名称：「たちすずか専用一発N37」
- ・肥料成分：窒素のみ（37%）でリン酸、カリは含まないため、堆肥施用を前提としています。

WCS用稲専用省力型肥料・BB・粒状配合

## たちすずか専用一発N37

保証成分(%)

チッソ      リンサン      カリ      チッソのみ

# 37-0-0

- この肥料はWCS用稲「たちすずか」専用基肥一発肥料です
- この肥料の使用に際しては、堆肥の施用を前提としているのでリン酸や加里成分は含んでいません
- この肥料は基肥時の施用で生育後半までチッソが持続します
- 37%のチッソのうち、施用直後に効く速効性チッソが3.4%残りの33.6%は3種類の緩やかに効く被覆尿素(LP)を使用
- 茎数を速やかに確保するとともに、茎葉の収量に最も効果的な出穂期前60～30日に重点的にチッソが効くよう成分を配合

●標準施肥量 **27kg/10a(チッソ10kg/10a)**

※1 土壌条件などにより施肥量は追加してください  
※2 指導機関等が配布する各地域の栽培ごよみ命令に施肥量は決定してください  
※3 初めて使用する場合は3年に1度は土壌診断による土壌中のN、P、K、Ca、Mg量を把握してください

**正味重量 20kg**

JA全農

### 3 栽培実証

#### (1) 実証ほの概要

- ・場所            津山市綾部
- ・栽培方法      稚苗移植（6/15）
- ・施肥日        基肥 6 / 15（移植同時）  
                    追肥 7 / 23（慣行区のみ）

表 各区の施肥体系

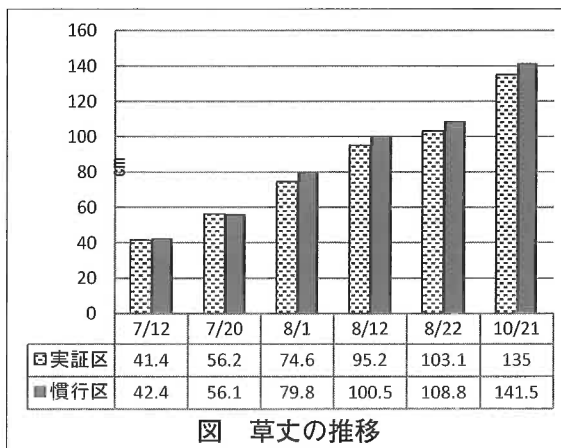
	基肥	追肥	窒素総量 (10aあたり)	肥料費 (10aあたり)
実証区	たちすずか専用 20kg/10a	-	7.4kg	4,590円
慣行区	PKセーブ422 40kg/10a	硫安 10kg/10a	7.7kg	5,170円

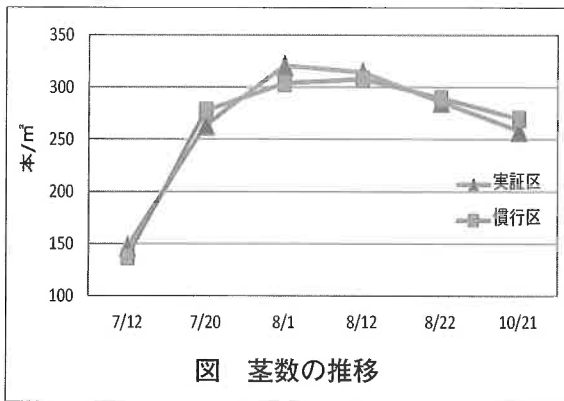
- ・県土壌肥料診断システムでの肥料成分の溶出予測を行ったところ、専用一発肥料では、初期の窒素肥効は抑えられ、7月20日頃から溶出量が増えるパターンを示しました。

#### (2) 結果

##### ア 生育状況

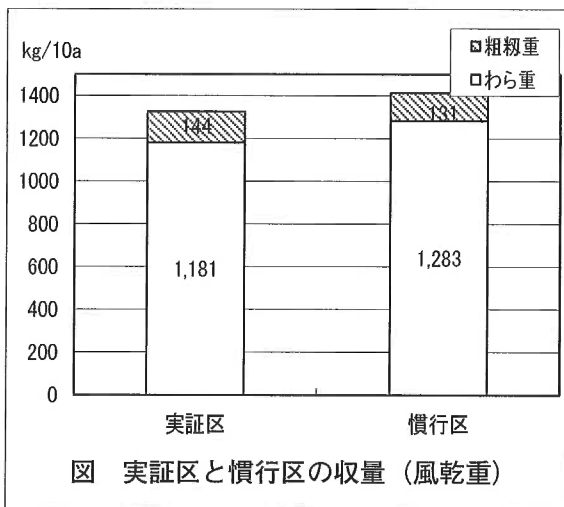
- ・草丈は7月下旬までは、ほぼ同等でしたが、8月以降は慣行区が上回り、最終的には慣行区が6.5cm大きくなりました。
- ・茎数は生育期間を通じて両区ともほぼ同等でした。





### イ 収量

・収量(風乾重)は、実証区がやや少なく、対慣行区の93.8%となりました。WCS収量(推定)は、実証区が2,650kg/10a、慣行区2,826kg/10aとなり、実証区では慣行区よりも約0.5ロール少なくなりましたが、津山地域での平均的な収量は確保できました。



### ウ 飼料成分

・飼料成分では、TDNは両区ともほぼ同等でしたが、CP(粗タンパク質)は実証区でやや少なく、対慣行区の85.7%でした。

表 実証区と慣行区の資料成分

	水分	TDN	CP	NFC	粗繊維
実証区	64.3%	54.1%	4.8%	57.1%	24.1%
慣行区	67.6%	54.3%	5.6%	58.3%	23.1%

※水分以外は乾物中の含量

## 4 まとめ

今回の実証結果から、たちすずか専用一発肥料を施用した場合、慣行栽培(基肥+追肥)と比較して、収量がやや少なくCPが低くなりましたが、省力で収量を確保できる技術として今後期待できると考えられました。

### ※たちすずか栽培パンフレットについて

これまでの実証ほの成績から津山地域における「たちすずか」の栽培特性がほぼ把握できたため、栽培のポイントをとりまとめたパンフレットを作成しました。希望者に配付していますので、当センターまでご連絡ください。

(連絡先 TEL 0868-23-1516)



# 安心して堆肥を使ってもらうために定期的な分析を!

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 環境研究グループ

## 1. 定期的な堆肥分析のススメ

国際的な肥料原料価格の高止まり等により、化成肥料の代替として家畜ふん堆肥（以下、堆肥）への期待が高まっています。しかしながら、良質な有機質肥料として認識していても、堆肥は使いにくいと敬遠している耕種農家は少なくありません。その主な理由のひとつに「堆肥は化成肥料に比べて肥料成分が多様で施肥管理が難しい」ことがあげられます。

実際、ひとくちに“牛ふん堆肥”といっても、その品質は多様です。表1は、平成23～24年度に岡山県内で生産・販売された120点の牛ふん堆肥の化学分析値です。水分は最小6.2%から最大79.7%と幅広く、窒素で約10倍、リン酸で7倍、カリで77倍の差がありました。

表1. 牛ふん堆肥の化学分析値 (n=120)

分析項目	最小値	最大値	平均値	標準偏差
水分(%FM)	6.2	79.7	52.0	20.0
pH(KCl/1:10)	6.5	9.6	8.4	0.7
EC(1:10) (mS/cm)	0.1	7.9	3.2	1.9
有機物(%DM)	20.5	90.7	70.6	9.8
灰分(%DM)	9.3	79.5	29.4	9.8
全炭素(%DM)	12.7	45.4	27.0	5.5
炭素窒素比	7.5	38.2	18.5	6.2
窒素(%DM)	0.4	3.9	1.8	0.5
リン酸(%DM)	0.7	4.9	2.3	0.7
カリ(%DM)	0.1	7.7	3.9	1.6
石灰(%DM)	1.0	11.6	3.3	1.4
苦土(%DM)	0.4	2.3	1.1	0.4

※表中の%FMは現物あたり、%DMは乾物あたりの含有率を示す。

また、平成23年度9月号の「散布シーブン到来前には堆肥の分析を！」でもお伝えしましたが、同じ銘柄の堆肥でも、肥料

成分等は製造時期によって変動します。

堆肥を利用する耕種農家は、表示票に記載された肥料成分含有量をもとに施肥設計を行うわけですから、堆肥を生産・販売する側が、適切な表示に努めなければなりません。耕種農家が安心して堆肥を利用できるように、定期的な堆肥の分析と表示の更新をお願いします！

## 2. 畜産研究所の取り組み

堆肥中の肥料成分の変動をなくすことは困難ですが、このことに起因する問題の多くは、定期的な堆肥の分析により解決できるはずですが、にもかかわらず、実際には分析の利用は進んでいません。表2に示したとおり、分析に時間とお金がかかるため、利用しづらいイメージが強いからです。

表2. 堆肥の主な分析方法

	精度	時間	分析料金
化学分析 (公定法)	非常に 高い	半月～ 数ヶ月	9,000円※1～
簡易診断 (近赤外分光法)	高い	1週間前後	1,050円※2～

※1：(財)畜産環境整備機構畜産環境技術研究所の例。分析項目は、水分、粗灰分、pH、EC、窒素、リン酸、カリ、石灰、苦土、C/N比

※2：岡山県の例。分析項目は、水分、有機物、pH、EC、窒素、リン酸、カリ、全炭素、C/N比

公定法である化学分析は分析料金が高い上、半月以上の時間がかかります。また、簡易診断でも、分析用のサンプルを乾燥・粉砕する工程に時間がかかるため、1週間前後の時間がかかります。

そこで、当研究所では、この前処理を簡略化して1時間程度で診断できる技術の開

発に取り組んでいます。図1は、開発途中のものですが、牛ふん堆肥と鶏ふん堆肥(乾燥鶏ふんを含む)中の窒素、リン酸、カリについて、必要十分な精度で推定できることが分かってきました。

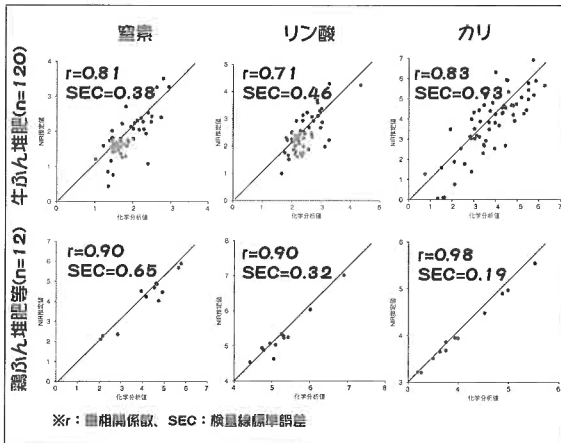


図1. 超迅速診断法による検量線の精度

※それぞれ横軸が化学分析による分析値、縦軸が近赤による推定値を示す。

新しい超迅速診断法は、従来法より若干精度が低いかわりに、短時間で多数のサンプルを診断することが可能な技術です。そのため、図2のような、比較的厳密さが要求されない用途での利用が想定されます。従来の化学分析や簡易診断と合わせて、ニーズに応じた使い分けをしていただくことができると考えています。この新しい超迅速診断法が、本県における良質堆肥の生産と利用を促進する一助となればと期待しています。

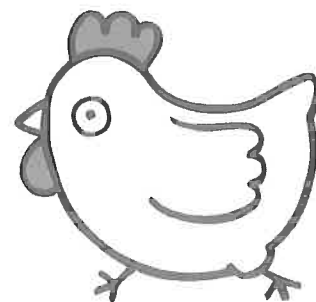
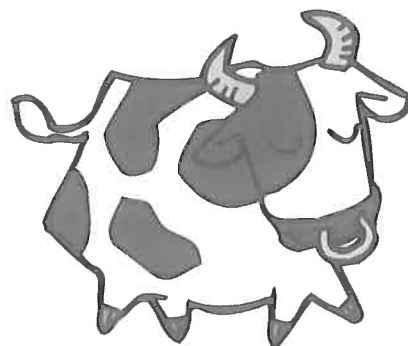
さて、超迅速診断法の実用化に向けた今後の予定ですが、近いうちに期間を区切った実証試験を行って、皆様のニーズに合わせた受け入れ体制の構築に反映させたいと考えています。この実証試験の結果は、来年度中に何らかの形でお伝えできると思いますので、関心のある方はもうしばらくお待ちください。



☆超迅速診断法の使い方☆

- ①そこそこの精度でも問題のない作物等の施肥設計に!
- ②堆肥生産現場での完成堆肥の品質管理や生産過程ごとの腐熟度チェックに!

図2. 超迅速診断の利用イメージ



## 〔畜産現場の声〕

# 種鶏一筋に三代目。「よい雛」の生産は挑戦の連続だった！

(株)福田種鶏場 代表取締役社長 山上祐一郎

山上社長は、平成6年に大学を卒業後、7年間マスコミに勤務され、平成13年に入社、18年に専務、22年からは父である恭宏会長からバトンを受け三代目社長に就任されました。創業83年という歴史ある種鶏場のトップとしての意気込みを話して頂きました。

### ○会社の概要は

ブロイラー（鶏肉となる肉用鶏）の親世代にあたる「ブロイラー種鶏」を約14万羽飼育し、産まれた種卵を孵化させて、初生雛（ヒヨコ）を販売している。昨年は、中四国、近畿、東海地方の肥育養鶏場に向けて約1900万羽を出荷した。

種鶏場としては国内最大級の規模を誇る赤坂中央種鶏場（赤磐市）をはじめ、種鶏場3農場、本社と所在地を同じくする孵化場（岡山市）を生産拠点にしている。

### ○会社をいつから継ごうと思われたのか

そもそも、若い頃には会社を継ごうという意識は低かった。むしろ家業と離れたところで自分の力を試したいと思い、新卒でテレビ東京に入社。長野オリンピックやサッカーのフランスワールドカップなど、スポーツ報道に心血を注いでいた。

その意識が変わったのは、帰省の際、当社の創業者である祖父を支えた有力OBの一言だった。「いつまで東京で遊んでいるつもりか。人が一生を捧げた会社を、三代目のお前が放り出したら許さんぞ」と。その言葉がきっかけで、家業には自分の代りがいないんだということを強く自覚するようになり、家業を継ぐことを考え始めた。

高校から東京へ出ていたため、種鶏孵卵

業がどんな仕事なのかもほとんど知らなかったが、逆に何かの色に染まることもなく、思い切ってゼロから新しい挑戦を始められた。

### ○入社してからのご苦労は

30才を前に福田種鶏場に入社し、すぐにイギリスで1年間の養鶏研修を受けた。日本で最も普及しているブロイラー専用種であり、当社の看板商品でもある「チャンキー種」の育種元、エビアジェン社での研修は、ブロイラー産業の頂点に位置する基礎鶏の飼育農場に始まり、原種鶏場、種鶏場、ふ化場、ブロイラー農場、処理加工場まで、順を追って研修を受けた。ニワトリを触るのも初めてだったが、ふ化場に隣接した実家で雛の声を聞きながら育ったせいか、トリに囲まれた職場に違和感はなかった。

イギリス研修で印象に残ったことは、技術や知識よりもメンタルな部分が多かったように思う。イギリスには、「ストックマンシップ」という言葉があり、「畜産家の品格・行動規範」が共通の認識となっている。それは、飼育責任だったり、アニマルウェルフェアだったり、「業」というよりは「道」に近い教え。牧羊の歴史が長く、家畜との付き合いの長いイギリスならではの文化のように感じた。そして農場に脈々と息づく畜産家の「精神」は、イギリス発の国際養鶏企業にあっても、事業の土台となり、「底力」となっていたように思う。当社も、生き物と共生する事業である限り、そうした「ストックマンシップ」を失わないようにしたいと思っている。



### ○経営で特に留意している点は

ブロイラー種鶏の飼育は、いろいろな畜種の中で、もっとも難しいとも言われている。生物学的に、繁殖能力と肥育能力とは相反する性能だからだ。つまり、よく太るように改良されたトリを、よく繁殖するように飼うという「矛盾」と常に向き合っているのがブロイラー種鶏場だ。エサは日々計量しながら与えるが、多ければ太ってしまうし、少なければ鶏群がバラつく。オスの受精率も、メスの産卵率も、体重のコントロールに失敗すれば散々なことになる。

そんな種鶏に対応するため、当社では、昨年からおス専用の飼料を新しく導入した。今まではメスと同じ飼料を使っていたが、より精密な管理のために、オス向けに特別に配合設計された専用飼料に変え、受精率の向上を目指している。

また、ブロイラーは、育種改良のスピードが際立って早いのも特徴だ。商業鶏のライフサイクルが40日と短い上に、他の畜種より多産のため、育種効果が波及するのも早い。そのため、過去数十年で目覚ましい改良が進められてきたのである。その結果、現在のブロイラーは、天然のニワトリからは大きくかけ離れ、昔ながらの飼い方や、設備ではなかなか能力を引き出せない。車に例えるならレーシングカーの「F1」のような、高性能かつ繊細な家畜に仕上がっていると思う。F1カーに、良い燃料、良いコース、良いドライバーが必要のように、ブロイラー系のニワトリには、相応のハード、ソフト両面の整備が必要になってきている。

当社でも、年々進化するトリに対応するため、環境整備を進めてきたが、特に今冬は、寒冷期の鶏舎内環境を整えるため、暖房と換気の両立に注力。換気制御機器の配備を集中的に行うとともに、データを基にした社内技術検討会も繰り返し開催している。

販売においては、モノを売って終わる商売ではなく、ヒナという生命をリレーして

いるのだということ肝に銘じている。当社の最終製品はヒナだが、出荷したヒナが納品先の農場で、しっかりエサを食べ、病気にかからず、大きく育つように、出荷先農場と、飼育管理の仕方、栄養、免疫の付与など、緊密に連携を取っている。最終的には、安心安全なチキンが食卓に並ぶところまでが当社の仕事の一環だと思っている。

### ○創業100年に向けての抱負、夢は

目下の経営課題は、飼料費の高騰。生産コストの3割を占める飼料費が高止まりし経営を圧迫している。その克服に、奇策などないと思う。地道なコストダウンこそ正攻法。1gの飼料も1滴の水も、1秒の電気も無駄にせず、その一方で、種鶏の生産性を少しでも高め、難局を乗り切りたいと思う。

その先に考えたいのは、ふ化場の新築移転。いまやふ化場には畜産現場というよりも食品工場並みの品質管理が求められるようになってきた。創業以来の一大事業となるが、設備の更新と、衛生面の向上、省力化によるコストダウンを目指して、慎重かつ大胆に構想していきたいと思う。

そもそも、当社は社是として「よい雛」の一語のみを掲げている。創業以来、「強健・高能力・低廉」なヒナの生産こそが当社の使命だとの思いは変わらない。今後、TPPへの参加など、時代の変化が加速しても、よい雛をつくるという当社の機能を磨き続けられれば、きっと社会に必要とされ続けると考えている。そのためにも、新しいことに挑戦し続け、社歴は古くても、常に中身の新しい会社でありたいと思う。



## 〔共済フレッシュさんの声〕

北部基幹家畜診療所 渡邊 卓彌



こんにちは。昨年4月より岡山県農業共済組合連合会に入会し、北部基幹家畜診療所に配属となりました渡邊卓彌です。この場をお借りして、簡単に自己紹介させて

ていただこうと思います。

出身地は新潟県新発田市です。新潟という雪が多いイメージですが、海近くにある新発田市は雪がさほど多くなく、たまに積もる程度で津山市の気候に似ている気がします（駅前の雰囲気も似ています）。その後、1歳の時に東京に引っ越しました（農家さん出身地について説明する際、こいつは新潟出身なのか東京出身なのかとややこしくさせていたらすみません）。

出身大学は、酪農学園大学です。部活、バイト、勉強に明け暮れる典型的な学生生活を過ごしました。部活は、中小家畜研究会（豚と羊の繁殖から出荷までする本格的なサークルです）を、バイトは近くの農場の搾乳の手伝いを、勉強は牛のハードヘルス（決して怪しい学問ではありません、ハードヘルス＝群管理という意味です）についての研究をしていました。

入会して数ヶ月は色々な先輩の車に同乗し診察から治療の流れを学びました。初めに苦労した事は、ロープワークでした。しっかり保定できたつもりで静脈注射をするも牛が暴れ段々緩み、最終的に針が外れ悔しい思いを何度もしました。次に、苦労した事はプレッシャーの中で、注射をすることでした。もちろん、農家さんが見ている時とても緊張するのですが、M先生の前で注射をする時も緊張しました。駆血が下手

だったり血管がわかり辛かったりして注射をするのに時間がかかる時に横を見ると大抵M先生がそわそわ（いらいら？）しながら見ており、先生の中にある我慢の限界点を越えると「もうええ。かしてみ」といわれ、左利きのM先生がさくっと注射する場面が何回もあり情けない気持ちになりました。ただ、そのような状況で鍛えられたのか、注射に限らず多少上手くいかない事態でも焦らずに対応できるようになったように思います。昨年10月からは、担当農家さんを持たせてもらえるようになり、こんな新人にも農家さんは色々と質問や相談をしてくださり、自分の少ない知識をかき集めどうにか答えるも実力不足に気づかされてばかりいます。新人とはいえ、その農家さんにとっての主治医は自分であり、前の先生の方が良かったのと思われぬように頑張らなくてはと思うのですが、「これは前に、〇〇という注射したら良くなったよ」とか「これだったら一旦様子を見ない？」と逆に教えていただく事が多々あります（そして、農家さんの言った通りになることが何度もありました）。

入会して以来、先輩に恵まれ、同期に恵まれ、そして農家さんに恵まれ、日々四苦八苦しながらもとても楽しく充実した日々を送らせていただいています。ありがとうございます。

まだまだできないことを数えだしたらきりがなく、いつか先輩のような獣医師になれるのだろうかという焦る気持ちもありますが、牛に、そして農家さんに信頼される獣医師になりたいという気持ちは人一倍あるつもりで精進していきますので、どうかご指導よろしくお願い致します。

## 〔ホットニュース〕

# 「和牛入門講座」第7期修了！ — 第1～6期受講生の現況について —

(一社) 岡山県畜産協会 経営指導部

実習受入農家や関係機関のご協力により、平成25年度(第7期)の「和牛入門講座」が無事修了しました。

8名の受講生を迎えた今年度は、平成25年9月28日(土)の開講式・基礎講座・和牛飼養現場視察に始まり、11月7日～平成26年1月19日の期間に牧場体験実習を数回重ね、1月24日(金)の子牛市場視察・就農(規模拡大)相談・閉講式(修了7名)で締めくくったところです。

中でも、県下先進10牧場(1人2～5、平均3.4牧場)での実習(視察)は、飼料給与や人工哺乳、毛刈りや洗体等を体験し、積極的な質問や意見交換も行われ、報告書や発表において、「大変良い経験が出来た」、「疑問点が少し解決した」、「先進農家とのつながりは、今後和牛経営を取り組む上での財産」といった感想が出るなど、有意義な時間になったと思われます。



＜牧場体験実習での一風景＞

修了7名の現状又は今後は、早くも新たに成雌牛を導入した方が1名、空き牛舎を購入し就農予定が2名、規模拡大予定が3名、牧場勤務を希望し近々面接予定が1名と活躍が期待される状況となっています。



＜関係機関を交えた就農相談＞

ここで、過去に講座を受講(修了)した44名について、現況を調査しましたので、一部紹介したいと思います。

各期別に受講当時と現在の成雌牛飼養頭数を比較したところ、次頁とりまとめ表のとおりとなっており、受講当時0頭だった23名中11名、およそ2人に1人が新たに繁殖経営に取り組んでいます。また、規模拡大を含む全体の増加頭数は、実に240頭にも上っており、平成25年における県下の成雌牛頭数が第1期開催(平成19年)当時の約5,300頭から約200頭減少している状況の中で、本講座(修了者)の果たした役割は非常に大きなものとなっています。

その他では、受講を機に人工授精師免許を取得し、他県の牧場に就職後、昨年から本県の大学付属農場に勤務している修了者もありました。

7年前に始めた小さな試みですが、このような成果につながったことは大変喜ばしいことであり、本講座を通じて、新たな和牛経営の担い手確保や育成が進み、本県和牛の生産基盤が維持・拡大されるよう引き続き尽力していきたいと考えています。

各期別現況調査とりまとめ表（抜粋）

区分	修了者数 (人)	左のうち 受講当時 既飼養者 数 (人)	成雌牛飼養頭数 (頭)			新 規 繁殖経営 開始者数 (人)	備 考
			受講当時 合計①	直近聞き 取り時等 合計②	差引頭数 (②-①)		
第1期	11	7	34	112	78	3	
第2期	6	3	21	62	41	2	
第3期	12	4	44	130	86	4	
第4期	5	2	45	51	6	1	
第5期	5	2	14	36	22	1	
第6期	5	3	67	74	7	0	日本短角 種含む
合計	44	21	225	465	240	11	

畜産協会からのお知らせのページ

## 平成26年度自給飼料関連施策について

平成26年度に実施される自給飼料に係る主な施策を紹介します。事業内容の詳細については、決定後、別途行政・関係団体からお知らせします。

### 1 飼料増産総合対策事業のうち国産粗飼料増産対策

コントラクター等による青刈リトウモロコシやマメ科作物等栄養価の高い良質な粗飼料の作付・利用拡大等の取組に対するの支援等（補助率：定額）

### 2 飼料自給力強化支援事業

#### (1) 都府県酪農経営国産粗飼料利用体制強化事業

酪農経営が国産粗飼料の利用・定着を推進するための取組の支援（補助率：経産牛1頭当たり6,100円）

#### (2) 国産粗飼料等活用促進事業

国産粗飼料（稲わらを除く）の広域流通に取り組むコントラクター等に対し、広域流通する粗飼料の前年からの拡大数量に応じた支援（補助率：20円/kg（奨励金単価）以内）等

#### (3) TMRセンター等体質強化事業

コントラクター等が利用する機械のリース導入への支援（補助率：1/2以内）等

#### (4) 飼料基盤活用強化事業

コントラクター等が行う草地への転換、草地の更新に要する経費の支援  
 コントラクター等がトウモロコシ等の高エネルギー飼料作物を新たに作付けした場合、当該拡大面積の作付け等による経費の支援  
 補助率：1/2以内（170千円/haを上限）、転作田については対象から除外

### 3 畜産収益力向上緊急支援リース事業

畜産経営における飼料用米等を活用した飼料自給率や生産性の向上に必要な機械のリース導入への支援（補助率：1/3以内）等

# 北海道乳牛市場の初妊牛価格の推移

おかやま酪農業協同組合 経済部流通課 井家上 誠

## 1) はじめに

昨年は、アベノミクスにより急激な円安が進み、飼料原料や燃料の多くを輸入に頼る国内酪農の生産コストは大きく上昇し、経営は悪化しました。乳価も昨年10月には飲用向けが5円/kg値上げされましたが、生乳生産は北海道を含む全国で計画を大幅に下回る推移となっています。

北海道の初妊牛価格は年間を通じ大きな変動もなく高値にて維持しましたが、成立も73%と悪く買い控えの傾向がみられました。

## 2) 最近の北海道牛産地情報について

### 札幌管内

2月の初妊牛動向ですが、12月に価格が上昇し、今月につきましても3月分娩が中心になることから、やや強含みの相場で取引されるものと思われます。経産牛につきましても、良質の物は高値取引が行われ、平均的には横這いでの取引になるものと思われます。

### 釧路管内

2月の初妊牛動向ですが、昨年の12月からの価格上昇により、年明けについては全体的に相場の底上げになりそうです。要因としては例年のことながら、需要期の腹(4月～5月分娩)であること、また、搾乳農家から出る初妊牛が極端に少なくなること、そして例年とは違い12月購買で遠腹が売れているなどから資源的にも少なくなっていることが挙げられます。価格についても流動的ですが、価格幅を持たれて、注文をお勧めいたします。

### 帯広管内

2月の初妊牛動向は、4～5月分娩腹中心となり、需要が増えてきますので価格は強含みで推移するものと思われます。また、年末市場では遠腹の初妊牛も多く取引されたため、資源が少なくなっていることも予測されますので、価格や分娩時期等に余裕を持っていただきたい。

### 道北管内

12月の家畜市場の動向は、例年通り高値で推移しました。2月初妊牛の動向については、4～5月分娩中心で都府県の需要が高まり相場は高値で推移するものと思われます。先取り等により資源不足が続いており、目的の分娩牛が購買出来ず、遠腹分娩を購買しなければならない傾向にあります。目的の分娩牛を購買するには注文時期に余裕をもってお願いします。

### 総括

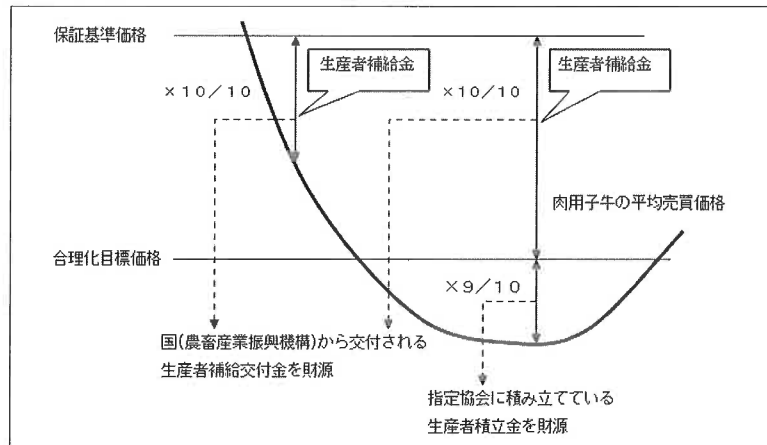
道内の12月中旬までの生乳生産量は前年対比97.5%、累計98.8%の実績です。道内各地域で初妊牛の自家保留対策や導入助成等の増産対策を実施しておりますが、生乳生産量の回復には至っておりません。2月の初妊牛動向は、4～5月分娩腹中心となりますが、年内にも相当数購買されている分娩腹ですので資源は少なく、一方で需要は多いことが予測され価格はやや強含みで推移するものと思われます。注文に際しましては、分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持って購買して下さい。

**Q** 肉用子牛生産者補給金制度とはどのような制度ですか。

**A** 子牛価格が低落した場合でも生産者の皆様が安心して経営が続けられるよう、肉用子牛生産者に対して「生産者補給金」を交付する制度です。

制度の仕組みは次の図の通りです。図の通り保証基準価格と合理化目標価格の間での平均売買価格との差額の補給金は全額が国から交付されます。さらに合理化目標価格以下の部分は、国と県及び皆様の積立金より9/10が交付されます。

**制度の仕組み**



負担割合 (積立)	国の助成	1/2 (黒毛 1,100、その他肉専 12,200、乳用種 6,350、交雑 2,500円)
	県の助成	1/4 (黒毛 550、その他肉専 6,100、乳用種 3,175、交雑 1,250円)
	生産者負担	1/4 (黒毛 550、その他肉専 6,100、乳用種 3,175、交雑 1,250円)

平成25年度の保証基準価格及び合理化目標価格は次の通りです。 (単位：円)

	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	320,000	292,000	209,000	122,000	188,000
合理化目標価格	273,000	251,000	144,000	86,000	142,000

**Q** この制度はいつから始まりましたか。

**A** 昭和63年に牛肉の輸入自由化が決定され、輸入枠が撤廃、関税化されることとなりました。この自由化と年々の関税率の削減により価格の安い輸入牛肉が一斉に出回り、国産牛肉価格は低落、肉用子牛の価格及び生産に大きな影響が生じることとなりました。

これらに対処し肉用子牛生産の確保と皆様方の経営の安定を図るため、昭和63年に法により「肉用子牛生産者補給金制度」が施行され、平成2年度から実施、既に23年を経過して今や我が国農業・畜産政策の重要な位置を占めています。

**Q** この制度へはどうすれば加入できますか。

**A** 肉用子牛の飼育者ならいつでも加入できます。加入にあたっては岡山県畜産協会と「生産者補給金交付契約」を結んでいただきます。なお、制度への加入手続きや、登録などの事務は各JA及び岡山県配合飼料価格安定基金協会等へ事務委託していますのでご相談ください。

また、黒毛和種についてはJAによる生産検査と本制度への加入申込を併せて行っていただいています。

動物用医薬品  
総合商社

# MPアグロ株式会社

## 取扱品目

動物用医薬品、医薬品、飼料添加物、混合飼料、  
動物用機器・機材、土壌検査器具・機材 他畜産関連商品

## 事業所一覧

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13 TEL 011-376-3860 FAX 011-376-3450  
岡山オフィス 〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目5番1号 TEL 086-224-1811 FAX 086-224-1819  
AHSC西日本 〒703-8256 岡山県岡山市中区浜1丁目10番5号 TEL 086-270-9510 FAX 086-270-8371  
御津物流センター 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4816 FAX 0867-24-4882

### 【中国営業部】

岡山支店 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4880 FAX 0867-24-4889  
尾道支店 広島支店 山口支店 鳥取支店 島根支店

【四国営業部】高松支店 徳島支店 松山支店 宇和島支店

【近畿営業部】京都支店 大阪支店 和田山支店 明石支店

【北海道営業部】札幌支店 函館支店 旭川支店 帯広支店 北見支店 釧路支店 東京支店

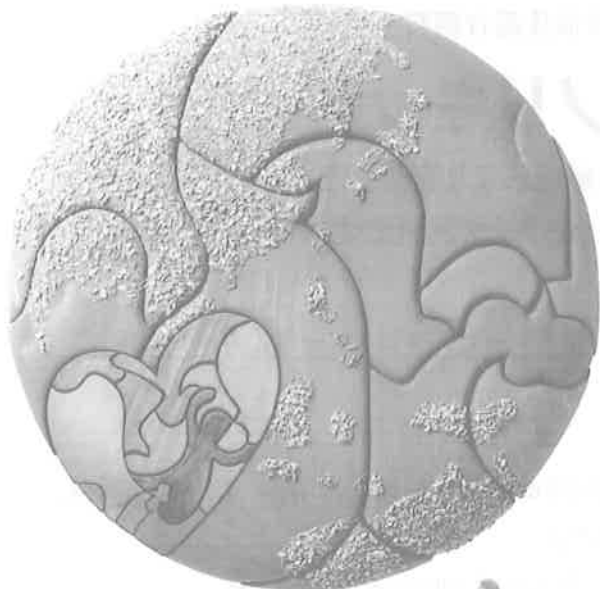
【東北営業部】青森支店 八戸支店 秋田支店 盛岡支店 一関支店 山形支店 仙台支店

【北九州営業部】福岡第一支店 福岡第二支店 熊本支店

【南九州営業部】宮崎支店 鹿児島支店 鹿屋支店

【食品営業部】福岡食品支店 宮崎食品支店 鳥栖食品支店 唐津食品支店

※AHSCはアニマルヘルスサポートセンターの略称です



## 株式会社 アスコ

<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー  
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

### 本社

〒441-8021  
愛知県豊橋市白河町100番地  
TEL 0532-34-3821  
FAX 0532-33-3611

### 営業所 所在地

- ・東北支店  
仙台、古川、福島
- ・関東支店  
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
- ・CA支店  
大阪、京都、名古屋、東京、大宮
- ・中部支店  
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜
- ・中国支店  
広島、福山、山口、岡山、米子

生命をのせて回る地球に、調い豊かな未来を届けたい。

# ASCO

## 取扱品目のあらし

動物用ワクチン・血清類一切、獣医畜産用薬品全般

家畜・家禽の飼料添加剤各種、獣医畜産用器具機械類

衛生材料(ガーゼ・脱脂綿・繃帯・その他)

土壌関係検査測定器具・試薬

## 岡山県獣医畜産事業協同組合

岡山市北区下中野350-103 TEL 086-243-8057

FAX 086-243-8544

新商品

高濃度アミノ酸含有液体混合飼料

### フタバアミノリキッド

麹菌と飼料醗酵技術の融合により誕生した、  
全く新しい概念のリキッドタイプ飼料です。

- 低温熟成により活性が失われていない酵素を含有（アミラーゼ、プロテアーゼ、リパーゼ他）
- アミノ酸を豊富に含有（2230ug/g）
- 様々な給与体系に対応しやすい液体タイプ
- 期待できる効果 粗飼料の食い込み改善、消化吸収率改善、成長促進、増体、繁殖障害改善、子牛の免疫力向上、発育・健康改善
- 給与目安 飼料に対して0.1%～0.5%添加、あるいは100cc～200cc/頭
- 原材料名 豆乳、小麦粉、酒粕、糖蜜、麹、乳酸菌、ビール酵母、トレハロース
- 販売容量 2リットルペットボトル／20リットルボックス／その他規模に対応可

製造販売元 **フタバ飼料株式会社**  
[www.futabashiryo.co.jp](http://www.futabashiryo.co.jp)

〒709-0841  
岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1  
TEL(086)953-0832 FAX(086)953-1870



# 高知競馬開催案内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

岡山県馬事畜産振興協議会では、3月8日(土)、本年度第2回目の冠レースを開催しますので、ふるってご参加下さい。

2 月				3 月			
開催日	備考	開催日	備考	開催日	備考	開催日	備考
1 土 ○	ナイトー	17 月		1 土 ○	ナイトー	17 月	
2 日 ○	ナイトー	18 火		2 日 ○	ナイトー	18 火 ○	ナイトー
3 月		19 水		3 月		19 水	
4 火		20 木		4 火		20 木	
5 水		21 金		5 水		21 金	
6 木		22 土 ○	ナイトー	6 木		22 土	
7 金		23 日 ○	ナイトー	7 金		23 日 ○	ナイトー
8 土 ○	ナイトー	24 月		8 土 ○	ナイトー	24 月	
9 日 ○	ナイトー	25 火		9 日 ○	ナイトー	25 火	
10 月		26 水		10 月		26 水	
11 火		27 木		11 火		27 木	
12 水		28 金		12 水		28 金	
13 木				13 木		29 土 ○	ナイトー
14 金				14 金		30 日 ○	ナイトー
15 土 ○	ナイトー			15 土		31 月	
16 日 ○	ナイトー	ナイトー(15:30~20:50)		16 日 ○	ナイトー	ナイトー(15:30~20:50)	

## あとがき

和牛の子牛価格が、昨年末から50万円を超える高値で推移し、今年に入っても依然続いている。この要因は、繁殖牛頭数の減少により生産される子牛が減り、肥育農家の子牛の確保が難しくなっているためと言われている。本県でも、ここ数年、繁殖農家戸数が毎年30数戸減少し、昨年は481戸、経産牛頭数も5,093頭となった。こういった中、当協会が和牛飼育の担い手を確保する目的で県から委託を受け開講してきた和牛入門講座が今年度で7年目を迎えた。前述のとおり、これまでに受講を修了した44名の大半の方が、飼育を新たに始めたり、規模拡大を行うなどして、約240頭の増頭を果たしている。今年度も、牧場勤務からの自立や他産業から転業し飼育を目指す7名の方が研修を修了した。全員が飼育に向け意欲的であり、必ず就農に結びくものと期待している。こういった地道な取組みが繁殖基盤の維持にもつながっていくものと考えている。(N・S)

## 岡山畜産便り 2月号(冬季号)

第65巻第2号(通巻649号)

平成26年2月25日発行

定価250円(消費税・送料含)

発行人 樋口義男 編集人 柴田範彦

発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階

TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031

印刷所 岡山県農協印刷株式会社

# 精密飼養を 実現する。

目指す将来を  
「カタチ」にする  
トータルシステム。



## 精密飼養 管理システム **CM20P**

【MMD500 = VMAP-2  
= MAX FEEDER / MAX FEEDER HID】

飼養状況を一括管理する  
VMAP-2(ビジュアルマネジメントプログラム)を軸に、  
個体ごとの正確な乳量、最適な給飼量を管理。

 **中国オリオン株式会社**

岡山本社 〒702-8022 岡山市南区福成2-14-23 TEL.086-263-1221  
営業所：岡山・津山・広島・上下・鳥取・出雲・小郡・大阪

## 岸化学グループ

 **株式会社 正和**

代表取締役 岸 小三郎

岡山本社 〒712-8055 岡山県倉敷市南畝1丁目13番1号

TEL 086 (450) 3807  
FAX 086 (450) 4008

広島事業所 〒738-0513 広島県佐伯区湯来町大字伏谷字今山137番58

TEL 0829 (40) 5177  
FAX 0829 (40) 5178

福山事業所 〒729-3102 広島県福山市新市町相方1089-19

TEL 0847 (54) 2007  
FAX 0847 (54) 2008

鳥取事業所 〒680-0906 鳥取県鳥取市港町51番地

TEL 0857 (50) 1736  
FAX 0857 (50) 1738

津山事業所 〒708-1544 岡山県久米郡美咲町周佐1377-4

TEL 0868 (62) 1232  
FAX 0868 (62) 1233

### 取扱品目

死亡牛・死亡豚他の処理

有機性汚泥

廃食油

動植物性残渣

医療廃棄物

